

令和元年 消 防 概 況



令和元年度丹波篠山市防火ポスターコンクール
丹波篠山市長賞 丹南中学校2年 中本 唯斗さんの作品

丹波篠山市消防本部（署）

目 次

	ページ
1 火災の概要	
(1) 発 生 状 況	1
(2) 出 動 状 況	2
(3) 月 別 発 生 状 況	2
(4) 時 間 帯 別 発 生 状 況	3
(5) 出 火 原 因 状 況	3
2 救急の概要	
(1) 出 動 状 況	4
(2) 月 別 出 動 状 況	5
(3) 年 齢 別 搬 送 状 況	5
(4) 曜 日 別 出 動 状 況	6
(5) 傷 病 程 度 別 搬 送 状 況	6
(6) 応 急 救 命 処 置 の 状 況	7
(7) 医 療 機 関 別 搬 送 人 員 の 状 況	7
(8) 現 場 到 着 所 要 時 間 の 状 況	8
(9) 収 容 所 要 時 間 別 搬 送 人 員 の 状 況	8
(10) ドクターヘリ・ドクターカー要請及び搬送状況	8
3 救助の概要	
(1) 出動件数、活動件数及び救助人員の状況	9
(2) 事 故 種 別 ご と の 活 動 状 況	9
4 その他の概要	
そ の 他 出 動 の 状 況	10
5 出張所の概要	
出 張 所 出 動 状 況	10
6 通信の概要	
1 1 9 番 通 報 の 受 信 状 況	11

1 火災の概要

令和元年中の火災出動件数は27件で、前年より3件減少している。火災種別ごとの出動件数は「建物火災」が8件で、前年より2件減少、「林野火災」が7件で、前年より2件増加、「車両火災」が2件で、前年と同数、「その他の火災」が10件で、前年より3件減少している。

建物火災のうち、住宅で発生した火災は6件で、前年より1件増加している。焼損棟数は17棟で、前年より4棟増加、焼損面積も前年より増加している。

火災における死者は2人で、前年より2人増加、負傷者は5人で、前年より2人増加している。

(注) 火災の概要で、火災の種別は、次のとおりに区分している。

建物火災・林野火災・車両火災・船舶火災・航空機火災・その他の火災

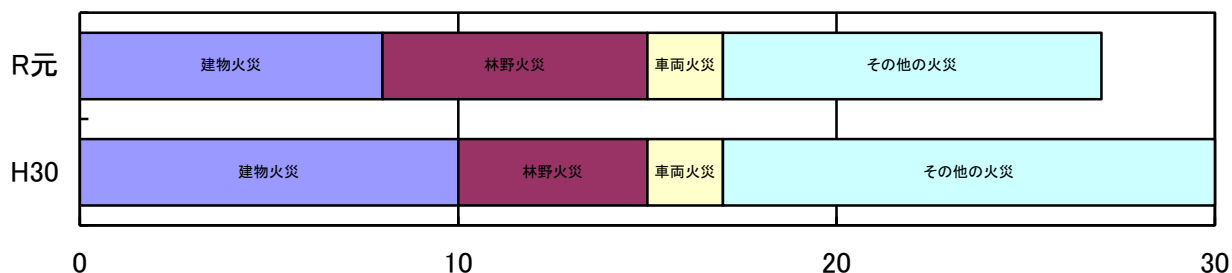
その他の火災とは、建物・林野・車両・船舶・航空機火災以外のものをいう。
丹波篠山市内では、船舶及び航空機火災は発生していないため省略

(1) 発生状況

区 分		令和元年	平成30年	比 較
出火件数	建 物	8 (6)	10 (5)	△2 (1)
	舞鶴道			
	林 野	7	5	2
	舞鶴道			
	車 両	2	2	0
	舞鶴道			
その他の	10	13	△3	
舞鶴道				
総件数	27 (6)	30 (5)	△3 (1)	
焼損棟数	全 焼	4 (4)	7 (3)	△3 (1)
	半 焼	3 (3)		3 (3)
	部 分 焼	3 (2)	4 (2)	△1 (0)
	ぼ や	7 (6)	2 (2)	5 (4)
	総 数	17 (15)	13 (7)	4 (8)
焼損面積	建物「㎡」	757(756)	673(252)	84 (504)
	林野「a」	45	15	30
り災世帯数「世帯」	8 (8)	3 (3)	5 (5)	
り災人員数「人」	17 (17)	4 (4)	13 (13)	
死 者 数「人」	2 (2)		2 (2)	
負 傷 者 数「人」	5 (2)	3 (2)	2 (0)	

()内は住宅火災

(注) 焼損面積中の建物「㎡」は床面積のみを計上



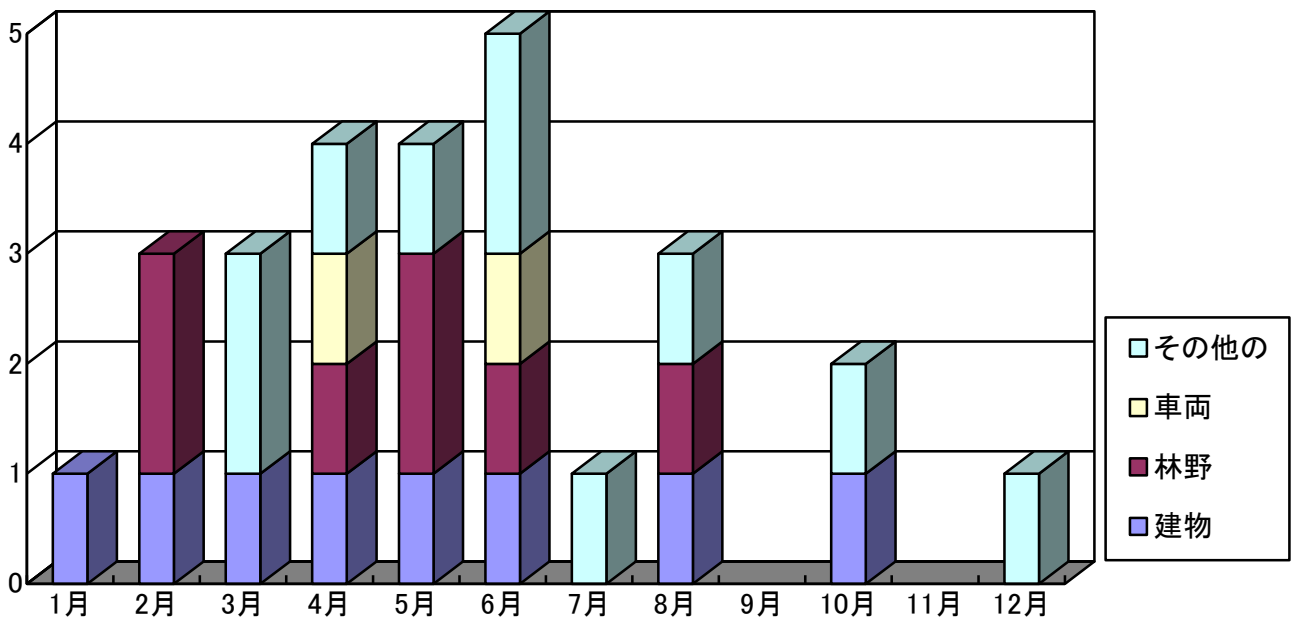
(2) 出動状況

区 分		建 物	林 野	車 両	その他の	合 計
出 動 件 数		8	7	2	10	27
出 動 人 員	消防署	82	45	10	59	196
	消防団	531	342	18	319	1,210
	総 数	613	387	28	378	1,406
1件あたりの出動人員		77	55	14	38	52
出 動 車 両	消防署	29	13	3	18	63
	消防団	78	51	3	56	188
	総 数	107	64	6	74	251
1件あたりの出動車両		13	9	3	7	9

(3) 月別発生状況

区 分	建 物	林 野	車 両	その他の	合 計
1月	1 (1)				1 (1)
2月	1 (1)	2			3 (1)
3月	1 (1)			2	3 (1)
4月	1 (1)	1	1	1	4 (1)
5月	1 (1)	2		1	4 (1)
6月	1	1	1	2	5
7月				1	1
8月	1	1		1	3
9月					
10月	1 (1)			1	2 (1)
11月					
12月				1	1
合 計	8 (6)	7	2	10	27 (6)

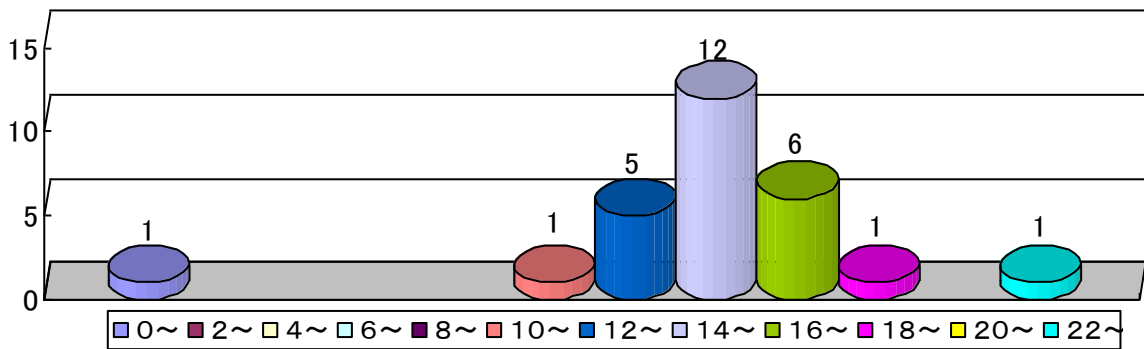
() 内は住宅火災



(4) 時間帯別発生状況

区分 時間	建 物	林 野	車 両	その他の	総 数
0～	1 (1)				1 (1)
2～					
4～					
6～					
8～					
10～		1			1
12～		1	1	3	5
14～	3 (3)	4		5	12 (3)
16～	4 (2)		1	1	6 (2)
18～		1			1
20～					
22～				1	1
総 数	8 (6)	7	2	10	27 (6)

() 内は住宅火災



(5) 出火原因状況

区 分	令 和 元 年					平 成 3 0 年				
	建物	林野	車両	その他の	合計	建物	林野	車両	その他の	合計
放火(疑い含む)	1(1)				1(1)	1(1)				1(1)
たばこ	1(1)		1		2(1)				1	1
こんろ										
たき火	1	6		6	13	3(1)	5		12	20(1)
ストーブ						1(1)				1(1)
排気管			1		1					
電気装置								1		1
溶接機・切断機						1				1
煙突・煙道						2(1)				2(1)
配線器具	1(1)				1(1)					
その他	1	1			2	1		1		2
不明	3(3)			4	7(3)	1(1)				1(1)
合 計	8(6)	7	2	10	27(6)	10(5)	5	2	13	30(5)

() 内は住宅火災

2 救急の概要

令和元年中の救急出動件数は2,194件で、前年より12件減少、搬送人員は2,075人で、前年より62人減少している。1日あたりの平均出動件数は6件で、年間を通じ市民20人に1人が救急車を利用したことになる。

事故種別ごとの出動件数は「急病」が1,320件で、前年より22件減少、「一般負傷」が358件で、前年より1件減少、「交通事故」が148件で、前年より24件減少しているが、「転院搬送」は288件で、前年より23件増加している。

年齢別搬送人員は65歳以上が1,357人(65.4%)で、全搬送人員の半数以上を占めている。

(注) 救急の概要にある事故種別区分について、「(1) 出動状況」は全ての事故種別を区分しているが、その他の表については主要な事故種別のみ掲示し、それ以外は「その他」として一括区分している。

(1) 出動状況

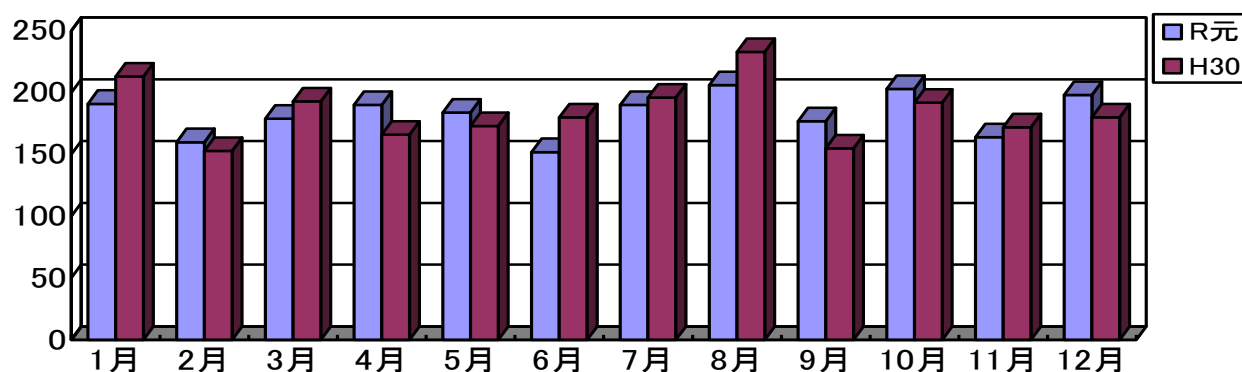
△は減少

区 分	令和元年		平成30年		比 較	
	件 数	搬送人員	件 数	搬送人員	件 数	搬送人員
火 災	5	4	1	2	4	2
自 然 災 害						
水 難	2		3	2	△1	△2
交 通 事 故	148	147	172	192	△24	△45
労 働 災 害	23	22	18	17	5	5
運 動 競 技	16	16	26	27	△10	△11
一 般 負 傷	358	341	359	347	△1	△6
加 害	4	4	7	6	△3	△2
自 損 行 為	23	11	13	7	10	4
急 病	1,320	1,242	1,342	1,276	△22	△34
転 院 搬 送	288	288	265	261	23	27
医 師 搬 送						
資 器 材 搬 送						
そ の 他	7				7	
合 計	2,194	2,075	2,206	2,137	△12	△62
舞鶴道	12	13	17	14	△5	△1
管 外	3	5	3	2		3

(2) 月別出動状況

△は減少

区 分	令和元年	平成 30 年	比 較
1 月	191	213	△22
2 月	160	153	7
3 月	179	193	△14
4 月	190	166	24
5 月	184	173	11
6 月	152	180	△28
7 月	190	196	△6
8 月	206	233	△27
9 月	177	155	22
10 月	203	192	11
11 月	164	172	△8
12 月	198	180	18
合 計	2,194	2,206	△12



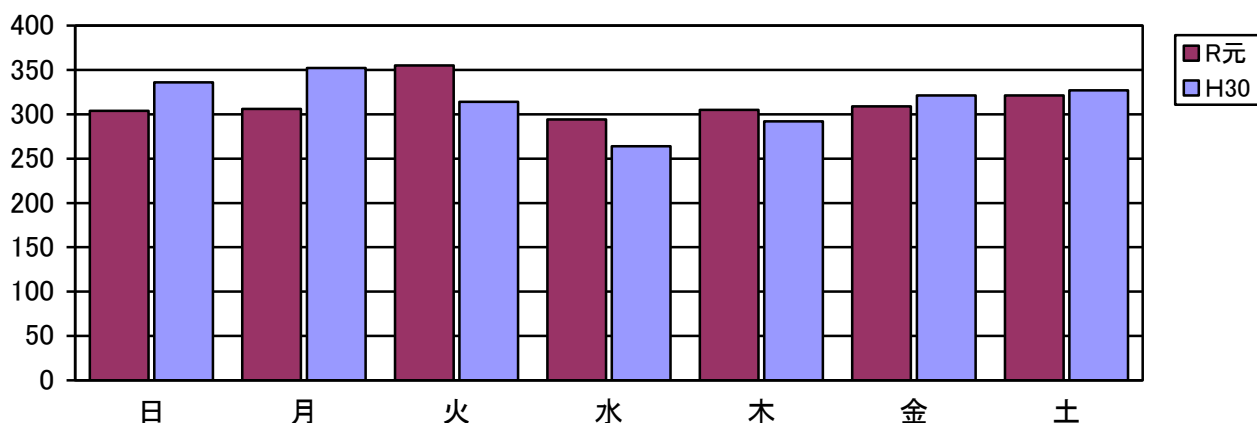
(3) 年齢別搬送状況

区 分		新生児 (28日以内)	乳幼児 (29日～6歳)	少年 (7歳～17歳)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合 計
急 病	元年		81	29	316	816	1,242
	30年		71	35	319	851	1,276
交通事故	元年		5	12	86	44	147
	30年		4	14	122	52	192
一般負傷	元年		15	9	51	266	341
	30年		29	8	59	251	347
転院搬送	元年	4	1	2	61	220	288
	30年	5		4	67	185	261
その他	元年			13	33	11	57
	30年		1	23	28	9	61
合 計	元年	4	102	65	547	1,357	2,075
	30年	5	105	84	595	1,348	2,137

(4) 曜日別出動状況

△は減少

区分	令和元年						平30年	比較
	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	合計	合計	
日	187	13	61	27	16	304	336	△32
月	184	25	47	41	9	306	352	△46
火	218	18	47	58	14	355	314	41
水	161	20	61	43	9	294	264	30
木	190	19	52	32	12	305	292	13
金	181	25	39	56	9	310	321	△11
土	199	28	51	31	11	320	327	△7
合計	1,320	148	358	288	80	2,194	2,206	△12



(5) 傷病程度別搬送状況

区分	死亡	重症	中等症	軽症	合計
急病	37	141	496	568	1,242
交通事故	2	10	30	105	147
一般負傷	3	63	105	170	341
転院搬送	2	45	221	20	288
その他	1	9	18	29	57
合計	45	268	870	892	2,075
(比率:%)	(2.2)	(12.9)	(41.9)	(43.0)	(100)

- (注) 死亡 初診時において、死亡が確認されたもの
 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの

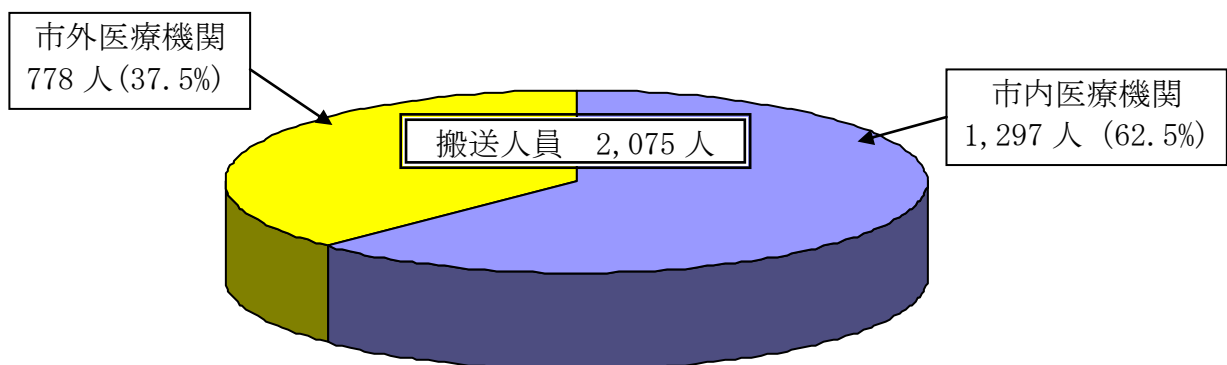
(6) 応急救命処置の状況

処置項目	対象人員	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
		1,242	147	341	345	2,075
止血		11	9	46	9	75
固定		40	65	132	21	258
人工呼吸		5		2		7
胸骨圧迫						
心肺蘇生		37	2	3	2	44
酸素吸入		298	24	27	109	458
気道確保		52	2	6	3	63
○ 用手・吸引		35	2	1	3	41
○ 経鼻エアウェイ						
○ 喉頭鏡、鉗子等		1		4		5
○ 器具による気道確保		16				16
○ 気管挿管				1		1
保温		109	18	31	21	179
被覆		13	28	81	13	135
在宅療法継続		21	1	2	4	28
血圧測定		1,146	142	328	339	1,955
心音・呼吸音聴取		237	50	25	31	343
血中酸素飽和度測定		1,201	145	337	342	2,025
心電図		992	79	179	255	1,505
○ 除細動		5				5
○ 血糖測定		38		1		39
○ 静脈路確保		27	2	1	3	33
○ 心肺停止		15	2	1		18
○ 心肺停止前		12			3	15
○ 薬剤投与		5		1		6
○ ブドウ糖投与		7				7
その他(体温測定、瞳孔観察等)		1,238	141	340	339	2,058
合計		5,482	708	1,542	1,491	9,223

(注1) 1人につき複数の応急救命処置を行うことがあるため、対象人員と事故種別ごとの処置項目の合計数とは一致しない。

(注2) ○は、救急救命士が行うことのできる処置である。

(7) 医療機関別搬送人員の状況



(8) 現場到着所要時間の状況

現場到着時間	3分未満	3分～ 5分未満	5分～ 10分未満	10分～ 20分未満	20分以上	合 計
出動件数	11	37	1,022	939	185	2,194

(9) 収容所要時間別搬送人員の状況

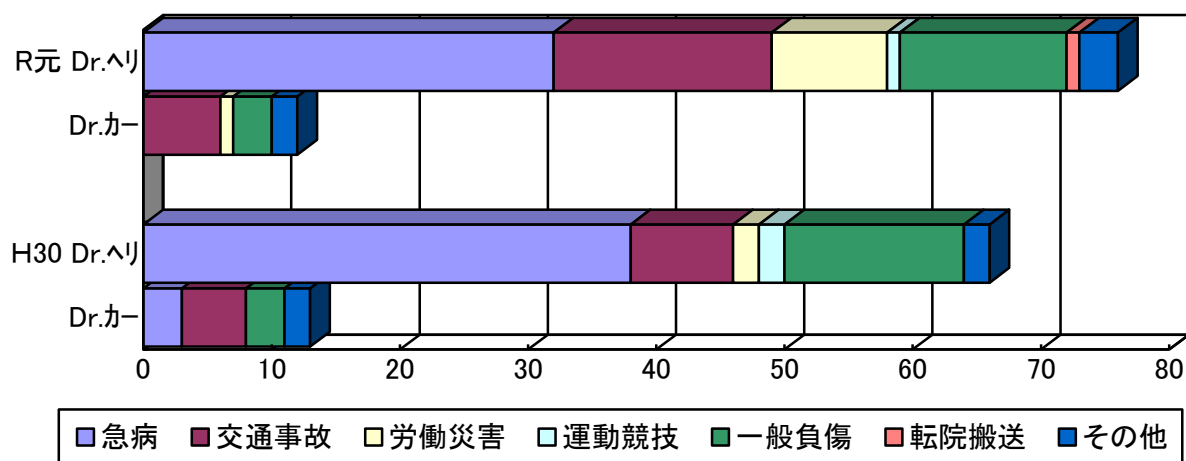
時間	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分以上	合 計
搬送人員		18	317	1,330	398	12	2,075

(10) ドクターヘリ・ドクターカー要請及び搬送状況

「Dr.ヘリ」は、ドクターヘリ ・ 「Dr.カー」は、ドクターカー

区 分	令和元年				平成30年				比 較			
	要 請		搬 送		要 請		搬 送		要 請		搬 送	
	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー
急 病	32		20		38	3	22	2	△6	△3	△2	△2
交通事故	17	6	12	3	8	5	5	4	9	1	7	△1
労働災害	9	1	7	1	2		2		7	1	5	1
運動競技	1		1		2		2		△1		△1	
一般負傷	13	3	8	2	14	3	8	1	△1			1
転院搬送	1		1						1		1	
そ の 他	3	2	3	1	2	2		1	1		3	
合 計	76	12	52	7	66	13	39	8	10	△1	13	△1

ドクターヘリ・ドクターカー要請件数



3 救助の概要

令和元年中の救助出動件数は41件で、前年より3件減少、活動件数は29件で、前年より3件増加、救助人員は29人で、前年より1人増加している。

事故種別ごとの出動件数は「交通事故」が15件で、前年より2件減少、「その他の事故」が13件で、前年より5件増加、「建物事故」が8件で、前年より7件減少している。

事故種別ごとの活動件数は「その他の事故」が12件で、前年より7件増加、「交通事故」が7件で、前年より1件減少している。

事故種別ごとの救助人員は「その他の事故」が15人で、前年より10人増加、「交通事故」が7人で、前年より4人減少している。

(1) 出動件数、活動件数及び救助人員の状況

区 分	出動件数		活動件数		救助人員	
令和元年	41		29		29	
舞鶴道 管 外						
平成30年	44	2	26	1	28	1
舞鶴道 管 外		1		1		1

(注) 「出動件数」とは、要救助者の有無に関わらず、救助する目的で出動した件数をいう。

「活動件数」とは、要救助者が存在し又は存在が予想され、救助のため実際に活動を行った件数をいう。

(2) 事故種別ごとの活動状況

区 分	令 和 元 年			平 成 30 年			
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	
火 災	1 (2.4)	1 (3.4)					
交 通 事 故	15 (36.6)	7 (24.1)	7	17 (38.6)	8 (30.8)	11	
水 難 事 故	2 (4.9)	1 (3.4)	1	3 (6.8)	2 (7.7)	1	
自 然 災 害 事 故							
機 械 事 故	1 (2.4)	1 (3.4)	1	1 (2.3)	1 (3.8)	1	
建 物 事 故	8 (19.5)	6 (20.7)	5	15 (34.1)	10 (38.5)	10	
ガ ス ・ 酸 欠 事 故	1 (2.4)	1 (3.4)					
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	13 (31.7)	12 (41.4)	15	8 (18.2)	5 (19.2)	5	
内 訳	山岳事故	7 (17.1)	7 (24.1)	10	3 (6.8)	1 (3.8)	1
	低所事故	5 (12.2)	5 (17.2)	5	1 (2.3)	1 (3.8)	1
	高所事故				1 (2.3)		
	挟まれ等の事故 誤 報	1 (2.4)			3 (6.8)	3 (11.6)	3
合 計	41 (100)	29 (100)	29	44 (100)	26 (100)	28	

() 内は、構成比%

(注1) その他の事故の「誤報」とは、勘違い等で災害事象が存在しない場合をいう。

(注2) 合計欄の構成比は、四捨五入により各種別の構成比の合計と一致しない。

4 その他の概要

令和元年中の火災、救急及び救助以外の出動件数は128件で、前年より20件増加している。出動件数の大半は、「ヘリ支援」となっている。

その他出動の状況

種別 目的	火災不至	警 戒	誤報・虚報	市外応援	そ の 他	合 計
油 流 出		3	1		1	5
焼 却 行 為		10	1		1	12
救 急 支 援				2	10	12
へ り 支 援					73	73
ガ ス 漏 れ		1				1
火災報知機の作動			8			8
火 煙		1		4	2	7
火 災 不 至	5					5
そ の 他		1	1		3	5
合 計	5	16	11	6	90	128
舞鶴道		2	1	3	4	10
管 外				3		3
出 動 人 員	30	50	47	35	291	453

- (注) 油 流 出…事故車両等からの油流出の処理活動
 焼 却 行 為…焼却現場での活動
 救 急 支 援…救急現場での支援活動
 へ り 支 援…消防防災ヘリ及びドクターヘリ要請に伴う陸上支援活動
 ガ ス 漏 れ…ガス漏れ現場での活動
 火災報知機の作動…火災報知機の作動に伴う活動
 火 煙…火煙発生の通報による出動
 火 災 不 至…火災の定義に該当するが、規模、被害等が極めて軽微な現場での活動
 そ の 他…上記のいずれにもあてはまらない活動

5 出張所の概要

令和元年中の出張所の出動件数は457件で、前年より30件減少している。災害種別ごとの出動件数は「救急」が447件で、前年より24件減少、「火災」が5件で、前年より5件減少、「その他」が5件で、前年より1件減少している。

出張所出動状況

区 分	救 急		火 災		そ の 他	
	令和元年	平成30年	令和元年	平成30年	令和元年	平成30年
東出張所	136	155	1	6	1	4
西出張所	205	202	2	2	2	2
南出張所	106	114	2	2	2	
合 計	447	471	5	10	5	6

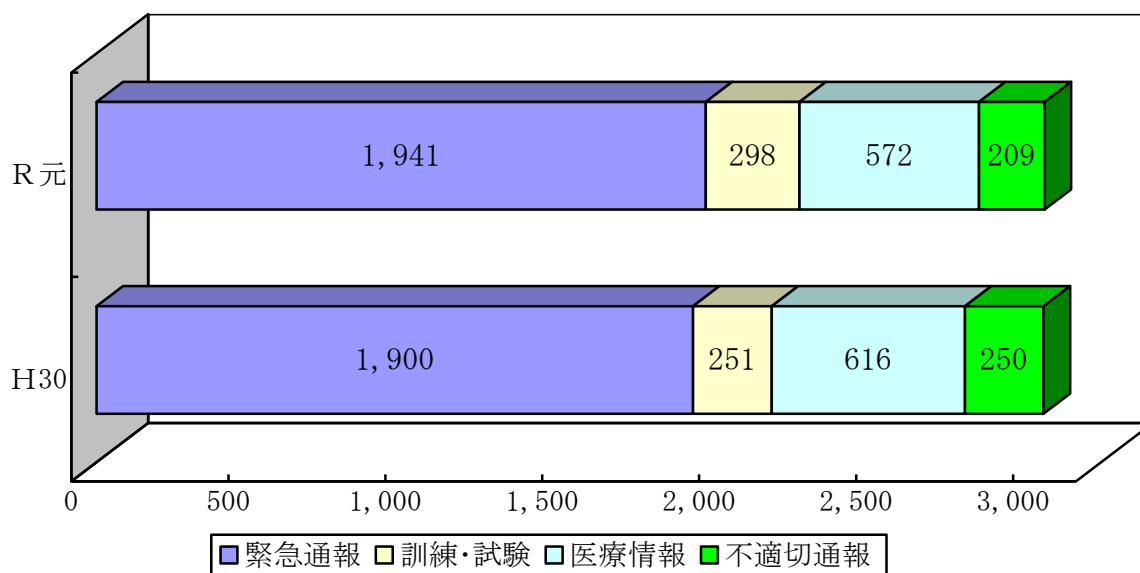
6 通信の概要

令和元年中の119番通報受信件数は3,020件で、前年より3件増加している。そのうち「火災」、「救急」、「救助」等の災害緊急通報が1,941件で、前年より41件増加している。また、「まちがい」、「いたずら」、「災害に対する問い合わせ」等の不適切な通報が209件で、前年より41件減少している。

119番通報の受信状況

種別	総数	火災	救急	救助・警戒等	訓練・試験	医療情報 問い合わせ	まちがい	いたずら 無言	問い合わせ			その他
									火災	救急	救助警戒等	
令和元年	3,020	57	1,767	117	298 (16)	572	59	10	3	4	1	132
構成比	100%	1.9	58.5	3.9	9.9	18.9	2.0	0.3	0.1	0.1	0.0	4.4
平成30年	3,017	40	1,777	83	251 (12)	616	73	8	6	7	0	156
構成比	100%	1.3	58.9	2.8	8.3	20.4	2.4	0.3	0.2	0.2	0	5.2

()内はFAX119による通報





令和元年度丹波篠山市防火ポスターコンクール
丹波篠山市消防長賞 城北畑小学校4年 植村 結愛さんの作品



令和元年度丹波篠山市防火ポスターコンクール
丹波篠山市防火安全協会長賞 味間小学校2年 北山 歩実さんの作品

令和元年(平成31年)度全国统一防火標語

ひとつずつ いいね!で確認 火の用心